

道路空間高度化研究会

研究会は、委員 8 名、オブザーバー3 名で構成

【委員長】

石田 東生（日本大学 特任教授・筑波大学 名誉教授）

【委員】

天野 光一（日本大学 理工学部 教授）

岸井 隆幸（日本大学 理工学部 特任教授・(一財)計量計画研究所理事長）

谷口 守（筑波大学 システム情報系社会工学域 教授）

山本 隆司（東京大学 法学部 教授）

川瀧 弘之（(一財)日本みち研究所 専務理事）

吉見精太郎（(一財)日本みち研究所 常任参与）

松田 和香（(一財)日本みち研究所 研究理事）

【オブザーバー】

吉田 敏晴（国土交通省 道路局環境安全・防災課交通安全政策分析官）

牧野 浩志（国土交通省 道路局 国道・技術課 道路技術分析官）

並河 良治（元 (財)道路環境・道路空間研究所 研究理事・(一財)道路管理センター審議役）

●第 41 回 (R2.11.11)

『With コロナ時代のモビリティと都市空間の再編成・ミラノ市の事例』

話題提供者:ヴァンソン藤井由実 氏

イタリアから帰国中の FUJII Intercultural 社代表 ヴァンソン藤井由実氏をお招きして、『With コロナ時代のモビリティ と都市空間の再編成・ミラノ市の事例』について、話題提供をしていただきました。

※オンラインでの参加・傍聴併用にて開催

話題提供では、ロックダウン中のミラノ市民の生活や公共交通機関の状況のほか、ロックダウンからの 出口戦略としてミラノ市が取り組んでいる戦略的都市計画(タクティカルアーバニズム)や道路空間の 再配分、オープンスペースの確保について、さらに、これからの都市像として、グローバリズムから ローカリズムへの動きや、「15 分都市構想」など、新型コロナウイルスをきっかけに高まっている ニーズについても紹介頂きました。



道路空間高度化研究会 実施風景